

学校を核とした地域づくりを目指して～学校に人が、地域に子どもたちがいる風景～

高島市	活動名：高島学園地域学校協働本部	高島小学校・高島中学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：100人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他[福祉活動、地域スポーツ活動、まちづくり活動等]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 ■その他(公民館・各種団体等)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・小中一貫校ならではの取り組みについて。
- ・授業参観の機会を増やし、その様子を踏まえての活動内容について。
- ・PTAとの連携と、来年度に向けて修身堂ボランティアとの融合について。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1) 読書の充実に向けて

今までの、朝・昼の本の読み聞かせ、図書委員の子どもらとのイベント開催に加えて、月2回、昼休み専用の「おはなしルーム」を開放し、自由に本に親しめる機会を設定した。

(2) 高島学園マルシェの開催

第2ステージとなる5～7年生が地域の皆さんと共に様々なブースを設定し、学園でマルシェを開催した。

(3) 中学生の地域への自主的な関わり

地域のまちおこし、となる「大溝祭り」や「まちづくりマルシェ」に生徒会で話し合い、受け入れ型から自主参加型へと変化してきた。

■ 実施に当たっての工夫

- ・授業支援等について、教員からの要望を聞き取り、修身堂ボランティアと話し合い、より良い方法で活動出来る様にした。
- ・電話、グループライン、そして二次元コードを利用し、様々な方法で呼びかけを行った。
- ・活動後は必ず「活動の様子」を学園内廊下と公民館廊下に掲示し、地域の皆さんに知ってもらう機会を増やした。

■ 事業の成果

活動の様子が地域に広がることで、協働活動に参加する人がどんどん増えて来ている。また、様々な地域にある団体、例えば、従来から参加していた民生委員児童委員、赤十字奉仕団、住民自治協議会、社会福祉協議会に、新たに更生保護女性の会なども加わり「まち」全体の「ひと」で学校が動ける様になってきている。

また、開設当時より重ねて来た活動、特に「昼休み九九・わり算道場」には多くの中学生が参加し、ボランティアに皆さんとの交流も深まった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティアの皆さんが増えることで、参加者の調整等も必要となってきたことが一つの課題となっている。また来年度はPTAが無くなるので、どう対応して行けば良いか、話し合いの場が多く必要となる。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会の委員に協働活動にも積極的に参加してもらえよう、呼びかけて行きたい。
- ・高島市で行われる「地域学校協働活動研修会」に各学校運営協議会委員や教職員がこぞって参加してもらえよう働きかけたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学年主任・生徒会担当教員等)



【 気軽に本に親しめる風景 】



【 大人&中学生が九九道場で 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つながり響き合う教育を目指して ～マキノ地域学校協働本部～

高島市	活動名：マキノ地域学校協働本部	マキノ東小学校・マキノ西小学校・マキノ南小学校・マキノ中学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要		
開始年度：平成 30 年度 地域学校協働活動推進員等数：1 人 ボランティア登録数：115 人		
☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☒ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☐ 学校・園
 ☐ 学校運営協議会
 ☐ 地域学校協働活動推進員等
 ☒ 行 政
 ☐ その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- (1)中学生と保護者、地域の方、教師を交えた拡大学校運営協議会
中学生の「どんな人になりたいか」をテーマに、保護者、地域の人、教師などがサポートの方法を検討した。
- (2)学校評価の評価項目について
学校評価をするにあたって、教育目標を踏まえて、ふさわしい対策ができるよう、これまでの評価項目、指標を見直した。
- (3)教職員との懇談を踏まえた学校活動の見直し
授業参観の後、グループに分かれて教師と懇談を行い、それを踏まえて、学校運営協議会で学校活動の見直しを検討した。



【 拡大学校運営協議会 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- (1) 小学校での協働活動
- ・地域資源を活かしたフォトロゲイニングの実施
- PTA が主体となって、地域の方から聞いて調べた固有の歴史、自然等を地図に落とし、親子でポイントの探索を競うフォトロゲイニングを行い、地域の理解、地域の方との交流を深めた。
- ・カヤックによる自然教室の実施
- 2日間に渡って、地域の多くの方にカヤックの誘導、伴走、救助艇の運行に協力頂き、中継地では多くの保護者が給水等を行って、琵琶湖で片道 16.4km のコースをカヤックで往復することができた。



【 フォトリゲイニング 】

■ 実施に当たっての工夫

- (1)学校運営協議会について 【 フォトロゲイニング 】
事前に校長、担当教職員(事務職員)等と児童の成長に向けて、幅広い立場の方から意見を聞き、情報共有することに努めた。
- (2)協働活動について
地域連携カリキュラム策定の段階で、目的の確認、地域との接点、人材の発掘等について、情報共有することに努めた。

■ 事業の成果

学校運営協議会の開催時に、委員だけで会議を持つのではなく、委員が児童・生徒、保護者、教師の意見や考えを直接聞く機会が設けられ、それを踏まえて会議が持たれるようになったことにより、児童・生徒と一緒にサポートしていこうという意思統一が進みつつあると考えている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

これまでの学校、学運協、地域への働きかけと学校での熟議、ボランティアの登録に配慮して頂いたことで、地域の方との連携が進み、学校側の広報、LINE を活用した呼び掛け等もあって、ボランティアの数も増え、関わりも増えるようになった。ただ、このような取組も全ての学校で行われているものではないので、さらに学校同士の連携や理解を深めて欲しい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

地域連携カリキュラムについて、事前の策定段階での情報共有、9年間を意識したカリキュラムの実施を検討して頂けることを期待したい。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☐ 校長
 ☐ 教頭
 ☐ 地域連携担当教職員
 ☐ その他()

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

つながり響き合う教育を目指して ～今津地域学校協働本部～

高島市	活動名：今津地域学校協働本部	今津東小学校 今津北小学校 今津中学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働活動概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度 平成 30 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:90 人 ■学習支援(授業補助 学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当する全てに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員 □行政 ■その他(住民自治協議会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域の特性や伝統を大切に活動を持続させていく。
- ・地域を愛し、地域に誇りを持てる活動を3校共通課題として取り組む。
びわ湖周航の歌発祥の町として発達段階に応じた活動をカリキュラムとして位置づけていく。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・中学校・2小学校が協働しておこなった事
湖岸における「はまひるがの」の保全
「ナガエノソノグイトウ」の研修(除去作業 雨天中止)
駅前イルミネーションへの飾りペットボトル作製
- ・今津東小学校(学校支援ボランティア「はなまる広場」と民生委員児童母子父子部会による支援)
環境整備・・・除草作業、花壇整備、体育館周辺雪囲い・渡り廊下風よけの設置
学習支援・・・九九まる(九九暗唱の聞き取り)、計算チャレンジ(加減の確認)、ミシン学習・版画学習の補助
事務作業支援・・・学級配付物の仕分け作業、九九まる確認用シート・スタンプの作製など
学校行事支援・・・校外学習引率補助、校医健診、身体測定等補助、新入生給食指導補助
- ・今津北小学校(学校支援ボランティア「箱館応援団」と民生委員・児童委員による支援)
行事支援・・・校外学習引率補助、左義長用葦束確保及び搬送
学習支援・・・九九道場(九九暗唱聞き取り)、ミシン学習
環境整備・・・夏休み後のグラウンド除草・運動会前グラウンド除草
- ・今津中学校(学校支援ボランティア「今中サポーターの会」による支援)
環境整備・・・夏休み後の除草

■ 実施に当たっての工夫

- ・学校側(各担当教員のニーズ)の要望把握に努めた。
- ・ボランティア側への情報発信を工夫した。LINE使用やはなまる通信発行
- ・コロナ対策として、対面の場合アクリル板の設置や追加など対策の見える化を図った

■ 事業の成果

- ・民生委員・児童委員の任期終了後も協力してくれる人が増え、学校支援の雰囲気が高まった。
- ・子ども達がボランティアの存在に慣れ、感謝やあいさつの言葉を出せるようになってきた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・課題・・・学校の要望が実施日直前になることが多く必要な人員の確保が困難。
- ・工夫・・・グループLINEの利用など発信の速度を速めた。早期に決定できる事柄(夏休みのはなまる+)は早くから日程を調整し参加者の確保を図った。
- ・展望・・・学校の支援に参加した地域住民が増加することにより、対応できるボランティアが増加する。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・各学校の学校運営協議会に行動する委員が増加しボランティアとの垣根が低くなってきた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当する全てに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(関係教員)



【 はまひるがのの保全活動 】



【 九九聞き取り(今津東小) 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つながり響き合う教育を目指して ～ 朽木地域学校協働活動本部 ～

高島市	活動名：朽木地域学校協働活動本部	朽木東小学校・朽木西小学校・朽木中学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：105人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 ■その他(住民自治協議会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・子どもたちにつけたい力
- ・地域連携カリキュラム
- ・学校運営や地域に関わる課題

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・朽木東小学校・・2年に一度、5・6年生が朽木再発見サイクリングを体験する。このサイクリングをより安全に実施するため、事前の会議や当日の伴走、自転車搬送や危険箇所での見守り・誘導、エイドステーションでの対応や昼食会場での豚汁のふるまいなど、多くのボランティアの方のお力添えがあり、無事に実施することができた。今年新たに、消防団OBの方や日赤奉仕団の方にもお世話になった。



【 朽木再発見サイクリング 】

・朽木西小学校・・運動会前の除草作業の後、万が一地域で火災が起こった時に、職員や児童も含めて少ない人数で消火活動をしなくてはならない現状があり、地域の消防団の方に来ていただき、消火ポンプなどの設置場所や使い方も含めて、実際に放水をする訓練を実施した。また、心肺蘇生法の講習会でも、児童が実際に心肺蘇生を体験した。大人よりうま人工呼吸ができる児童もいた。

・朽木中学校・・今年初めての取組として、住民自治協議会「すみまち」主催で、全校生徒と地域の方とのトークフォークダンスが開催された。進行役の方のお話を聞きながら、1分間ずつのトークを楽しんだ。お互いに、普段会ってもあいさつ程度なので、ゆっくりいろんな話ができて良かったと思った人が多く、また参加したいという地域の方が多かった。



【 トークフォークダンス 】

また、朽木で災害が起こった時に、地理的なことや高齢者の多い地域なので、中学生の存在は大きく、いざという時にどんなことができるのかを考える機会として、日赤奉仕団と合同の防災研修会を開催した。

■ 実施に当たっての工夫

- ・各校園の行事の把握に努め、地域と連携できることやつながれる内容考えた。
- ・各団体や協議会との連携に努め、協働できることを増やした。

■ 事業の成果

- ①地域の団体の主体的な取組があり、たくさん子どもたちが参加することができた。そのことで、多くの地域の方とふれあうことができ、地域の方のありがたさや地域の良さに気づけたり、自分もボランティアをしたいと言ったりする子どもが増えた。
- ②今年も中学生の活躍の場が増え、こども園の行事や地域の行事にボランティアで参加する生徒が多かった。
- ③子どもたちの主体的な活動もできた。お世話になっている地域を盛り上げたい、役に立ちたい、自分たちのできることは何かと考えて活動ができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

子どもたちの学校での活動に、多くの地域の方が関わってくださることを改めて感じた。今後も、学校と地域がより良い関係を築けるように、話し合う時間を大切にしていきたいと思う。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会をより分かりやすく、開かれた会議にしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担任等教職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つながり響き合う地域づくりを目ざして ～みんな主役の地域学校協働活動～

高島市	活動名 : 安曇川地域学校協働本部	安曇小学校 青柳小学校 本庄小学校 安曇川中学校 学校運営協議会 ■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成30年度 地域学校協働活動推進員等数2人 ボランティア登録数: 70人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他[福祉学習 地域の行事に参加 団体の活動に協]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(ボランティア団体・個人 社協)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ① 授業参観後に協議会を行ったため、児童・生徒の様子がよくわかり、日常の具体的なことの良いことや課題など話せた。
- ② どの学校も出来上がったカリキュラムをもとに、協働活動の予定など詳細に話し合った。皆さんの意見を聞くことができ活動に広がりができた。先生が全員参加する学校もあり、具体的な教育活動が話し合えた。
- ③ 中学校の場合、地域と関わる地域探訪や職場体験の事業所などについて話し合い、協力が得られた。
- ④ 生徒、児童が会議に参加して、地域の方とどのようにかわりたか、また地域の方と一緒にどのようなことをしたいか、自分たちが地域で何をしたいか、何ができるかなど一緒に考えた。
- ⑤ それぞれの学校の、特徴を出した学校運営にするために、どのように地域や地域の方と繋がっていくのか話し合った。
- ⑥ 今年課題になったことをもとに、来年度の学校運営に関すること話し合えた。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ① 地域探訪の引率に行き、生徒達と繋がることができ、大人も地域の学習ができた。
- ② 中学校の、郷土調理の支援。今年は6クラスの授業に支援が入り、生徒達といい関係ができた。また、ボランティアの方は、事前に試作、試食会をして仲間との繋がりが強まり、自分たちの楽しみにもなった。その後「安中カフェ」という地域の方が来るカフェに積極的にボランティアにきたい生徒が多数出た。地域の高齢者といい関係ができ、とても素敵に対応していた。一人暮らしの方が多い。皆さん楽しそう。
- ③ 大人の学習会。湖魚の料理。保護者や祖父母も子ども達の体験をやってみる。ある学校は、大人たちだけで学ぶ。大人も学習する姿を子ども達に見せる。もう1校は、親子ひびきあい活動で、一緒に魚を捌く体験をした。共に楽しく学べた。
- ④ 小学校区のコミュニティのイベントに、小学生が自分たちで、店を出したり、ゲームを考えたり、スタッフ側になって、活躍した。地域の子どもたち、幼児も保護者も多数参加、地域の大人たちは、見守り支えた。みんな達成感を感じていた。
- ⑤ 地域の施設やボランティアグループ、社会福祉協議会との連携。住民自治協議会と民生委員、日赤奉仕団などともつながり、年末に一人暮らしの高齢者に手紙や花の苗を届ける。今年は、日赤奉仕団とサツマイモのつるでリースを作り、配った。
- ⑥ 社会福祉協議会と繋がる。福祉教育 3年聴覚障害 4年視覚障害(3小学校)
- ⑦ 小学校・中学校の卒業生、担当の先生にコサージュを作ってくださった。約200個。5年目。本人も達成感を感じている。



【 安中カフェの様子 】

■ 実施に当たっての工夫

- ① 事前打合せ・講師、担任 推進員で必ず連絡、相談しておく。事前準備も詳細を学校へ知らせ準備物等も依頼しておく。
- ② 小学校の周りにお住まいの方をできるだけボランティアで入っていただく。
- ③ 4校(中1 小3)担当しているのでできるだけ学校を満遍なく周り情報を得る。
- ④ 参加して下さる皆さんが、楽しんでよかったと思えるように、配慮する。
- ⑤ 学運協においても、協働活動の情報と現状、課題を示し、協力を依頼する。

■ 事業の成果

- ① 協働活動がだいぶ軌道に乗ってきた。教育計画の一環となっている。
- ② 生徒、児童と地域の方々が上手に繋がってきて、いい関係ができている。
- ③ 教育活動が充実したと思う。保護者にも広がり、ボランティア参加が増えている。
- ④ ボランティアの皆さんも活動が広がったと言って、喜んで参加している。



【 地域の行事に参加、出店 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ① 各学校に一人の推進員がいるととても充実する。学校の情報が得やすく、身近で簡単な相談打合せができる。
- ② 教職員も私たちも発想の転換をして子ども達の自主的な考えを大事にしていきたい。
- ③ 学校、生徒、児童がもっと地域の行事などにも積極的に入っていけるように、繋がっていききたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ① 小中一貫教育と小1連携のつながりをもっと考えた活動にしていきたい。
- ② 生徒の入った学運協や、委員の皆さんの発言も増えてきているので、人数なども増やし協力してもらえ学運協にしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(事務職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つながり響きあう教育を目指して～みんなであたたく見守り育てよう「学而事人」の人～

高島市	活動名：新旭地域学校協働本部	新旭南小学校・新旭北小学校・湖西中学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：139人(むくげの花の会、夢の会、希望の会) ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[教育相談窓口開設]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学 校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行 政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- 【湖西中学校】・校内研究主題であるSDGsと学校・地域連携カリキュラムの位置づけや年間の予定について、地域の方との交わりの中で非認知能力を高めることについて、学校地域合同防災学習など地域連携による教育活動の内容について
- 【南小学校】・学校・地域連携カリキュラムについて(目指す子どもの姿と学校・地域連携カリキュラムの実施にむけて学運協委員、ボランティア、教職員で熟議)・次年度に向け地域に児童の力をどう生かしていくかについて
- 【北小学校】・「みどりプロジェクト(高学年による地域貢献活動)」についての成果と課題、年間行事及び学校・地域連携カリキュラムについて、通学路や登下校の安全について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・学而事人おはようミーティングの活動…始業前に校門や昇降口、校舎内で挨拶・声かけをする。会員(むくげの花の会)、生徒、教職員、保護者のにぎやかなミーティングの場となっており、支援活動の情報交換や打合せの場でもある。この活動は、学校の敷居を低くし、より活動しやすい環境作りとなっている。また、早朝に図書室を開けて生徒の見守りを行った。(湖西中)
- ・学校地域合同防災学習…新旭地域住民自治協議会と連携し防災かまどベンチづくりを行い、炊き出し訓練を行った。(湖西中)
- ・地域貢献活動・地域と連携した活動…中学校吹奏楽部は、新旭駅前ふれあい食堂・新旭ふくしまつり、国スポプレ大会など地域のイベントでの出演演奏を行った。中学生(むくちル)が地域のイベントの手伝いや募金活動などボランティア活動を行った。北小学校では、高学年が自治会と協働し、自分たちで企画運営し、清掃活動や夏祭りの手伝いなどの地域貢献活動を行った。
- ・地域の方と子どもたちがふれあう機会をもつ活動…北小学校では「のぞみひろば」を毎週金曜日の昼休みに開催し、子どもたちと地域の方があそびで交流をする機会をつくっている。地域の方のマジック披露、種明かしの会も設けた。南小学校においても「ゆめのかいといっしょ」を毎月、第2木曜日の昼休みに開催し、子どもたちと地域の方があそびで交流をする機会を始めた。

■ 実施に当たっての工夫

各校の「ボランティアの会」の「世話人会」を毎月実施し、学校と活動の意義、実施方法等を十分協議して協働活動を行っている。協働活動の計画に当たっては地域の方が少しでも多く学校へ来ていただけるように、児童生徒が地域に出て活躍できるように考えている。活動が活発に行えるよう地域の団体との連携や保護者・祖父母の参加にも配慮して取り組んでいる。

■ 事業の成果

「児童生徒が地域のボランティア活動へ積極的に参加するようになった。」「学校に入りやすくなった。」「以前に比べ子どもたちが落ち着いて授業を受けている。」などの言葉を頂いている。広くボランティア活動に参加を呼びかけることができ、多くの方に参加していただいた。登下校の見守り活動が充実し、不審者の減少や運転者のマナーも向上した。



【 かまどベンチづくりの様子 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・関係の団体や機関・施設等との連携を進め、小中学生の体験活動や地域貢献活動の場を拡げていくこと。
- ・町内の保育・幼稚園や学童保育所にも支援・協働の活動を拡げる地域総がかりの子育てにつなげること。
- ・ボランティアの会の高齢化、新規会員の発掘が課題。



【 のぞみひろばの活動の様子 】

■ コーディネーターと協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学年主任)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)